

第71回触媒化学融合研究センター講演会

産総研触媒化学融合研究センターでは、様々な分野で活躍している大学、公的研究機関、企業等の方々をお招きして講演会を開催することで分野の垣根を越えた連携の実現を目指しています。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

Group 10 pseudo-halogen compounds: synthesis, reactivity, and catalytic applications

<講師>

Department of Chemistry, Kangnung-Wonju
National University, South Korea

Prof. Yong-Joo Kim



日時: 2019年7月24日(水) 16:00~17:00

場所: 産総研第5事業所 第2本館 第4会議室(5-2 6603室)

<講演概要>

遷移金属擬ハロゲン化合物は、五員環ヘテロ化合物の生成を含む反応性を示すことがよく知られている。講演者は長期にわたり、遷移金属擬ハロゲン化合物の応用に関心を持ち、特に生理活性物質及び産業に有用なヘテロ環状化合物の合成及び応用のため後期遷移金属擬ハロゲン化合物研究について研究を進めてきた。

中でも、パラジウムを含む後期遷移金属アジド化合物の合成及び反応性についての研究結果をもとに、擬ハロゲン化合物に対する様々な研究結果を発表している。近年は、擬ハロゲン類を用いた後期遷移金属メタラサイクル化合物の合成と触媒反応への応用に適用可能な、より効率性のよい新たな触媒の開発を行っている。このたびの講演会では、このような後期遷移金属擬ハロゲン化学の展開について解説し、これらの研究例について紹介する。